

9. 開発教育のプログラムを実施する際に、他の機関とどのような連携・協力を行っていますか。

① 行っている	25
行っていない	12
無回答	9

②行っている場合どのような連携・協力ですか。

ネットワーク作り	6
情報交換	8
資金提供	5
業務委託	6
その他	8

具体的に

- ・学校関係者で組織する国際理解研究会と連携して事業を行う（北海道）
- ・開発教育を実施しているNGOに対しての事業の後援等を通して互いの情報を交換する。（札幌）
- ・開発教育協議会との共催、国際協力推進協会からの図書・資料の提供、国際協力事業団との情報交換。（青森）
- ・人材紹介（山形）
- ・JICAとの共催セミナー、他協会との共催セミナー
- ・県・NGOとの共催によるフォーラム（埼玉）
- ・講師の選定及び派遣
- ・小学校で異文化理解教室などを実践する民間団体に費用の一部を補助 など。
- ・NGOとの協力による各種プログラムの企画・実施
- ・ハローフレンズの実施に関してはERICにプログラムを委託（川崎）
- ・開発教育協議会から講師選定とプログラム作成で協力を得た（静岡）
- ・JICA北陸支部や県内大学より講師の斡旋、テーマの紹介。学校教員でつくる国際理解教育研究協議会とセミナー開催の調整（石川）
- ・講師の派遣等（富山）
- ・この地方で積極的に国際理解教育への取り組みをすすめているNGOより講師派遣を受け、各種セミナーを開催している。（愛知）
- ・当センターが主催しての事業実施は行っていない（岐阜）
- ・大学等高等教育機関から、地域経済学、開発教育や開発学等図書資料収集のアドバイスを受けている。NGO等から、講師の派遣や教材の提供を受けている。JICA、APIC等から国際協力や開発教育関係のパネル展等についてパネルや資料の提供を受けている。（兵庫）
- ・広島県の委託事業の実施、JICA中国国際センターとの事業の共催。（広島）
- ・実行委員会形式で、企画・運営を行う。（NGO、大学、企業、その他の関係者）（山口）
- ・講師の選定、及び派遣。（愛媛）
- ・講師の紹介、発掘。プログラム実施方法の検討。（福岡）
- ・プログラムそのものを全面委託している。（北九州）

- ・ JICAとの共催で国際理解講座を実施。ながさき国際理解教育センターと協力・連携したプログラムの実施。(長崎)
- ・「地球市民教育ネットワーク鹿児島」の支援、広報誌などでのPR、開発教育協議会、地球市民教育センターなどからの情報提供。JICA、JOCA、APIC、ユニセフ、NGOなどからの教材(ビデオなど)提供。(鹿児島)
- ・ CIRの派遣の際、県教育長に対し小学校の推薦を依頼する方法をとっている。推薦された後は各受け入れ校やCIR(県国際交流課)と派遣日程等の調整を行っている。(沖縄)

10. 今後、他機関との連携の必要性を感じますか。

① YES	34
NO	1
無回答	11

②その理由をお書きください。

- ・ 開発教育を効率的かつ積極的に進めていくためにはJICA、地方自治体(国際化推進セッション+教育委員会)、国際理解研究会、NGO、民間団体等の連携が不可欠である。(北海道)
- ・ 開発教育を進める中での手法等情報交換・提供の必要性を感じるため(札幌)
- ・ 開発教育をとりまく環境が、絶えず変化しているの、それを見極めるため。(青森)
- ・ 開発教育の定義・内容について、まだよくわからない部分があるので、ノウハウの共有、研修会への参加、現場見学の実施などが必要と思われる。(秋田)
- ・ 地域国際化協会という組織は財政的にも人材的にもそれぞれの主管である自治体に負っている部分が多く、エキスパートが育ちにくい環境にある。なかなか蓄積できない知識や技量は他機関との連携で補いながら実施していかなければ質の良いプログラムは提供できない。(宮城)
- ・ 開発教育が県民に広く受け入れられるためには、できるだけ他機関との連携を持ち、広範囲な広報活動が不可欠です。(福島)
- ・ 事業の円滑な運営のため(栃木)
- ・ 県民に広く広報する必要がある(新潟県)
- ・ 各機関のもつノウハウをイベントに活かし、広く開発教育を普及するため(埼玉)
- ・ まず教育委員会に開発教育の意義と必要性を認識してもらうことが必要。そうでないと学校には入っていけない。(茨城)
- ・ 開発教育の実践には、さまざまな現場の生きた情報が必要だから。また、その普及のためにも様々な機関の協力が必要なので。(神奈川)
- ・ 事業を効果的に展開していくためにはより多くの情報を集め、各方面の方々と技術・ノウハウを出し合って共同で進めていく必要があると思われるから。(横浜)
- ・ 一協会では限界があるが連携することでより発展的な事業が組める。また学校等と協力していけば裾野が広がりより大きな効果が期待できる(川崎)
- ・ 開発教育を地域に根付かせるためには、教育関係者や地域の市民グループとの連携が不可欠と考えるため(静岡)
- ・ 幅広い情報の収集が必要なため(石川)

- ・よりよい教材、題材を開発したりなど、情報交換等が必要。(福井)
- ・開発教育の手法は様々な問題や課題に応用できる。(富山)
- ・幅広く人材発掘をする必要があると思われるため。(愛知)
- ・主催事業として、開発教育にかかわって行くことは、現段階ではないため。(岐阜)
- ・開発教育を推進するにあたり、単独で進めることは不可能であると考えため。学校教育・家庭の協力が必要である。(大阪)
- ・教育委員会(文部省→都道府県教育委員会→市町村教育委員会→学校・公民館活動)の理解が必要。(兵庫)
- ・資金協力、講師の手配、セミナーのプログラム作成等。(広島)
- ・開発教育は分野が広く、国際交流・協力の分野のみでは対応が不十分となるため。(山口)
- ・まだ連携が不十分であるから。(愛媛)
- ・当協会の目的である国際土佐人の育成にあたっては、青少年への教育はもとより実際に活動している団体を紹介し、国際協力や理解につながるきっかけ作りをする必要はあるから。(高知)
- ・当協会だけでは情報量も限られており、他団体と連携・協力することでより効果的な事業を実施できると期待できるから。(福岡)
- ・開発教育のプログラムの多様化を図るため。(北九州)
- ・内容や参加者のマンネリ化や偏りを避け、より広範な人々の参加、理解を促すためには、多くの機関との連携により、活動内容や範囲の多様化が必要と思われるため。(長崎)
- ・当協会だけでは限界があるから。(宮崎)
- ・国際協力関係との連携はできているが、環境・人権などの機関との連携はこれから。(鹿児島)
- ・事業効果を高めるためには県・県教育長等との共催が必要だと考える。(沖縄)

#### 11. これからのどの機関との連携が必要だと思いますか。

① 学校	23
教育委員会	22
NGO	29
ODA関係機関	17
その他の地方自治体・国際交流団体	21
マスコミ・出版社	11
民間企業	9
その他	5 (その他→国際理解研究会、文部省、教職員組合、PTA、国連機関、地域の市民グループ、環境・人権等の諸団体、外国人、地域の国際交流団体、高等学校国際教育研究協議会、市町村・市町村国際交流団体)

#### ②どのような連携・協力を望みますか。

ネットワーク作り	22
情報交換	27
資金提供	9
業務委託	6
その他	4

## 具体的に

- ・NGO、民間との連携の場合はゆるやかなネットワーク作りから始めるのは望ましい。

(北海道)

- ・イベントの共催・後援 (秋田、新潟)
- ・セミナーの共催、教員のトレーニング、課題の設定や指導方法の確立の点で
- ・専門機関からは常に新しい情報を、教育機関からは共催の姿勢を求めます。(宮城)
- ・現在持っているネットワークをより強固にしていく (埼玉)
- ・教員のトレーニングが必要。(茨城)
- ・開発教育教材・関連図書の整備や教材開発、セミナーの実施のための助成制度があるとよいのではないか。(神奈川)
- ・場の提供、講師の相互派遣 (川崎)
- ・共催の形で開発教育セミナーを開催する。よりよいプログラム作りのために勉強会を行う。

(静岡)

- ・他の団体が開発教育について取り扱った際の問題点、アドバイスなど。(福井)
- ・研修会の実施や講師の派遣等 (富山)
- ・学校教育の中で国際理解教育を実践できると効果的であると思われる。協会としては講師派遣、情報提供、場の提供といった面で協力可能と思われる。(愛知)
- ・既存の科目と同様に、課題の設定や、指導方法等の確立。(大阪)
- ・今後は、実施現場として学校と地域のコミュニティ等を中心に展開していく必要がある。そのためには、学校、教育委員会、NGO、市町村との連携が重要である。これからは、都市の中心地ではなく住民の居住地 (学校、公民館など：これらはどちらも教育委員会の所管である) を視野に入れる必要がある。(兵庫)
- ・セミナー等の開催の都度、実行委員会を結成。(山口)
- ・市町村単位、公民館単位でのネットワーク作り。(愛媛)
- ・当財団自体がその手法を持ち合わせていないので、プログラムの多様化を図るため、まず業務委託から始めたい。(北九州)
- ・事業の共催や啓発・育成につながる一般向け情報提供などでの協力。(長崎)
- ・事業の共催化。それによって経費の確保、情報の交換がスムーズに行えるものと思う。

(沖縄)

12. あなたはこれまでに、開発教育に関する情報・資料収集等でJICAを含むODA関係機関の窓口を利用したことがありますか。

①あり	18
なし	20
無回答	7

②具体的にどこの機関をご利用になりましたか。また、その際期待した情報やサービスが得られましたか。

- ・国際協力推進協会 (8件)
- ・JICA (広報課、国際協力総合研修所、青年海外協力隊事務局、ホームページ、駒ヶ根

- ・青年海外協力隊訓練所、二本松協力隊訓練所、北陸支部、中国センター、九州センター)
- ・青年海外協力協会（3件）
- ・外務省経済協力局政策課（2件）
- ・FASID
- （以下はODA関係機関以外であるが記述のあったもの）
- ・開発教育協議会 ・ユニセフ ・神奈川県国際交流協会、地球市民教育センター

13. 貴団体が開発教育に関してODA関係機関に期待する連携・協力の内容はどのようなものですか。

- ・ODA関係機関が保有する情報の整理及び統合を行い、窓口を一本化するなど、情報公開をきちんと行った上で各団体との連携を図って行くべきものとする。（北海道）
- ・事業への講師派遣、事業の共催、助成金交付他（札幌）
- ・連携協力以前に、ODA関係機関が、他のNGOがやっていることの二番煎じをしたり、ODA関係機関同士似たような窓口を沢山設けて似たような事業を行うのではなく、ODA関係機関同士が連携をとり、情報交換を十分に行い、役割を確認し合い、窓口を明確にして、一般庶民の対応にあたってほしい。（青森）
- ・人材育成のための研修会、講師の派遣、資金提供（秋田）
- ・資料提供（ODAの実績等成功例、失敗例に含めて）、人材紹介（山形）
- ・わかりやすい資料（決して高価なものではなく）の作成と、ODA機関だからこそプロデュースできるスタディーツアーなど（宮城）
- ・資料、教材等の無償提供（栃木）
- ・資料の提供、イベントへの助成（埼玉）
- ・教員のトレーニングが必要（茨城）
- ・開発教育教材・関連図書を整備や教材開発、セミナーの実施のための助成制度があるとよいのではないかと。ODAに関する情報・資料の提供（神奈川）
- ・情報提供（川崎、横浜）
- ・情報の相互交換やセミナー講師の派遣など（石川）
- ・教材の提供（富山）
- ・県別、分野別講師リストの作成をお願いしたい（愛知）
- ・教員の声として、外国を知る第一歩として食、服、祭は入りやすいという声があった。ただ、日本にいながら実際の物品や資料を収集するのは難しいのが現状である。海外での現場をもっている強みを生かし、実際に活用できる物品の収集、貸し出し、それらの情報のデータベース化を行っていただきたい。（大阪）
- ・国のODA関係機関には、統計や教材開発等、教材・資料等の作成、提供、講師等の斡旋、自治体や教育委員会、地域国際化協会等の職員・教職員研修を望みます。また、全国レベルの広報活動（テレビや全国紙等の対応）や他の国の機関（文部省等）との調整等をお願いしたい。住民への直接的なサービスや啓発活動、NGOの育成（国の機関やNGO育成等を行うと地域での自治体との連携を軽視してしまうきらいがある）については自治体や地域国際化協会等の業務として事務移管や委託をしていただき、国・都道府県・市町村・NGOの役割分担を明確にして効率的な事業展開をお願いしたい。（兵庫）

- ・資金提供、講師等の紹介、セミナープログラムの検討。(広島)
- ・情報提供、事業費助成。(山口)
- ・資金面の連携・協力よりも、人的な連携・協力をもっと進めていってほしい。(愛媛)
- ・セミナー等の講師派遣。(香川)
- ・講師の確保、派遣。講師謝礼金の支払い等の事務委託。(福岡)
- ・JICA研修員自体のプログラムをもう少しゆったりとってあげて研修員そのものが開発教育の現場(学校、社会教育施設)に行けるようにしてほしい。(北九州)
- ・県内NGOで夏休み期間中に中高生を支援現地視察事業を行っている団体や高等学校国際教育研究協議会で開発途上国支援に関する研究発表会を行っている。これら団体に対して、活動を支援する情報提供、資金協力、情報の提供がほしい。(佐賀県)
- ・使いやすい教材の提供(特に学校向け)(鹿児島)
- ・国外での活動経験者を講師として講演会(写真、パネルの展示会等を含む)等への派遣及び国際交流事業資金の補助等。(沖縄)

#### 1.4. 最後に開発教育について考えておられることをご自由にお書きください。

- ・地方自治体においては国際理解教育という言葉を使っており、JICAの開発教育と概念の上で違いがあるかどうかという問題も含めて、一致した認識が確立されていない状況にあるといえる。今後このあたりの整理が必要と思われる。(北海道)
- ・国家対国家の国際協力が、人対人の国際協力に変わってきた今、開発教育はとても重要なものであるが、文部省の総合学習の導入に合わせて、学校の先生達はそのノウハウの収集にやっきになっている。ODA関係機関もそれに合わせて動いているようなところがあるが、ODA機関にはODA機関にしかできない開発教育があると思うので、それを打ち出してほしい。(青森)
- ・これからは教員が一方的に話すのではなく、生徒が自分の意見を述べたり、体験・活動を重視した授業を増やした方がよい。社会に出てからも役立つと思う(CIR談) これまでは国際交流、理解、協力が重点がおかれてきたが、これからは様々な問題に気付いた個人がその解決に参加していくために開発教育が必要だと感じている。国際理解のためにはまず自分を教育する必要がある。(秋田)
- ・学校、教育委員会等との連携を密にし、今後事業を展開していかなければならないと認識している。そのため、来年度JICA東北支部との共催予定のキャラバンはその成果がおおいに期待される。(山形)
- ・特に私たち地域国際化協会は、自治省からの指導には率直に耳を傾ける傾向にある。もっと、政策的に自治省を巻き込んだ形で、開発教育をアピールしていく必要があるのでは。(宮城)
- ・地方自治体の財政状況が近年著しく悪化しているため、開発途上国支援よりもまず地元の住民支援が優先するという行政サイドの意見が強力です。貧弱な地方自治体の財源をあてにするより1兆円に及ぶODA予算の再考が望まれます。(福島)
- ・国際協力フェスティバルのようなものを全国展開できれば良いのではないかと。(埼玉)
- ・生徒(参加者)主体のワーク方式にまず慣れることから出発と思います。また、日本から外国はやはり遠い。外国人と話をしたことのない人々に開発教育をすることは欧米型の開発教育をそのまま取り入れても成功しないということでは?(茨城)

- ・世界の国々や環境・平和等を考える時、開発教育は重要だと思います。そのためには次代を担う若い世代の子供たちに特に必要だと考えます。そのためにも、学校との連携は大切だと思います。(川崎)
- ・開発教育は今後の日本の国際化・教育にとって必要なものだと考えている。(静岡)
- ・開発教育といった言葉が一般の方にはわかりにくいので、よりわかりやすい表現をした方が良いのではないのでしょうか。(石川)
- ・開発教育という言葉はまだまだ県民の方には普及していないように思われます。すこしづつですが、参加体験型のワークショップなどを行い、問題意識を感じながら、考え、知恵を出し合い、解決していこうという気持ちを持ってもらうための事業を展開していきたいと考えます。(福井)
- ・開発教育は南北問題をテーマに始まったが、国際協力の現場に限らず、地域にある様々な問題(男女平等、青少年、高齢化社会等)にも応用できる。(富山)
- ・開発教育という言葉は自分にはなじめない。国際理解教育、地球市民教育といった言葉が良いと思う。(愛知)
- ・今後、十分のフィールドワークに基づいた資料や教材の作成が必要ではないだろうか。また、社会科学的なアプローチによる教育学としての体系化した開発教育学の創設があれば社会的な説得力が増すのではないか。現在の開発教育学会等の動きは社会科学的な体系化と教育理論の展開が弱いように感じますが。(兵庫)
- ・開発教育の定義が広すぎてよくわからない。(広島)
- ・人間として、地球上の全員が考え、解決していかなければならないことを、学び、考え、行動していくために、是非学校教育に導入してもらいたい。(山口)
- ・開発教育の起こりや目的・内容に十分留意しながら、ここ当分は国際協力事業の中で取り組んでいくことになると思います。(香川)
- ・事業として確立するよう積極的に努力していきたい。(徳島)
- ・国際交流にしる、国際協力にしる、結局は自分に返ってくるものだと思います。それを意識して啓発するのが開発教育。つまりは、私たち自身の心を豊かにするために、これからは是非力を入れていきたいと思います。(福岡)
- ・文部省、外務省の枠を取り払い、学校教育、社会教育の場でより多くの開発教育(地球市民教育)の機会を供与できるシステム作りが必要だと思います。(北九州)
- ・低開発地域の諸様相を克服し、人類社会の均質な発展を目指す態度及び行動力を養うことが、開発教育の目的の一つであると思われるが、現状としては対象地域に対する同情からの理解の域を越えていないので、新たな方向からの取り組みが必要と思われる。(長崎)
- ・協会の職員が勉強不足なので、JICAが担当者のためのセミナーを開催してほしい。(宮崎)
- ・21世紀を担う若者達が世界の様々な国に対する理解を深め、また交流を行うことはわが国にとって重要である。そのような観点から開発教育の拡充に期待したい。(沖縄)

#### 4. 学校教員向けアンケート調査 (データ)

問1) まず、先生ご自身のことをお聞かせください。

問1-1. 年齢・職業・性別およびお勤めの地域等をお答えください。

a. 年齢:

無作為	職業					
年齢	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
20代	75	111	124	5		315
30代	166	241	324	4		735
40代	147	175	255	8	1	586
50代	52	68	136			256
60代		1	9			10
無回答	2		1		5	8
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
年齢	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
20代	3	7	21	1	2	34
30代	24	46	74	7	1	152
40代	48	39	58	13	6	164
50代	25	10	36	12		83
60代	1	2	6	5		14
70代以上					1	1
総計	101	104	195	38	10	448

b. 職業:

無作為	職業					
職業	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
	442	596	849	12	6	1904
学校事務				1		1
高校講師				1		1
養護教諭				3		3
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
職業	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
	101	104	195	38		438
研究所研究員					1	1
工業高専技官					1	1
高校非常勤講師					1	1
専門学校教員					1	1
大学非常勤講師					1	1
短大講師					1	1
博物館指導主事					1	1
養護学校教員					1	1
養護教諭					1	1
臨時教職員					1	1
総計	101	104	195	38	10	448



c. 学校種別：

無作為	職業					総計
種別	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
公立	438	543	694	11	1	1687
国立	2	13	2			17
私立		39	153	6		198
無回答	2	1			5	8
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					総計
種別	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
公立	98	87	156	4	4	348
国立	2	7	4	17	2	32
私立	1	10	34	17	3	65
無回答			1		1	2
総計	101	101	195	38	10	448

d. 学校規模：学年のクラス数

無作為	職業					総計
学校規模1	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
1クラス	234	85	22	6		347
2～3クラス	149	210	78	3		440
4～5クラス	33	184	127	3		347
6～7クラス	9	87	234			330
8～10クラス	2	12	320	1	1	336
11クラス以上	5	6	53			64
無回答	10	12	15	4	5	46
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					総計
学校規模1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
1クラス	20	12	4	1	3	40
2～3クラス	55	20	18	2	1	96
4～5クラス	20	37	32		3	92
6～7クラス		23	55	2		80
8～10クラス		9	68	1		78
11クラス以上	2	1	13	2		18
無回答	4	2	5	30	3	44
総計	101	101	195	38	10	448

担当クラスの平均生徒数

無作為	職業					総計
学校規模2	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
10人以下	72	49	5		2	128
11～20人	88	12	14		1	115
21～30人	123	97	106			326
31～40人	123	389	603		1	1118
41～50人	3	19	82		4	108
51人以上		7	14			21
無回答	33	23	25		8	94
総計	442	596	849		17	1910

ニーズ調査	職業					
学校規模	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
10人以下	5	3	4		1	13
11～20人	10	3	4	7		24
21～30人	26	14	20	2		62
31～40人	42	71	140	2	3	257
41～50人		6	17		1	24
51人以上	1	2	2	5	1	11
無回答	17	5	8	22	4	56
総計	101	104	195	38	10	448

e. 性別：

無作為	職業					
性別	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
男性	193	399	640	5	1	1238
女性	247	196	207	11		661
無回答	2	1	2	1	5	11
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
性別	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
男性	60	75	155	30	6	325
女性	40	29	38	8	4	120
無回答	1		2			3
総計	101	104	195	38	10	448

## f. 勤務地域：

無作為	職業				無回答	総計
地域	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他		
東京都	11	31	51	1		94
北海道	27	15	46	1		89
兵庫県	5	23	39	1		68
千葉県	18	20	26			64
静岡県	14	28	20	1		63
茨城県	24	23	15			62
岩手県	19	24	19			62
愛知県	9	25	26			60
大阪府	8	11	40			59
青森県	24	12	20		1	57
神奈川県	5	14	37			56
埼玉県	4	21	29			54
福島県	9	25	20			54
岐阜県	17	15	18	1		51
宮城県	13	20	14			47
鹿児島県	10	15	21	1		47
大分県	19	13	15			47
栃木県	13	15	15			43
三重県	7	20	12	3		42
新潟県	12	14	15			41
群馬県		15	25			40
岡山県	10	15	14			39
福岡県		6	31			37
長野県	15	16	5			36
愛媛県	5	10	19			34
山口県		15	19			34
山梨県	10	9	15			34
広島県	4	7	16	5		32
鳥根県	8	10	13			31
沖縄県	5	5	20			30
熊本県	11	10	9			30
佐賀県	7	8	13	1		29
長崎県	13	6	10			29
富山県	4	5	20			29
福井県	13	4	10			27
山形県	3	8	15			26
香川県	5	5	14			24
秋田県	5	5	14			24
徳島県	11	8	5			24
滋賀県	10	5	5			20
石川県	5	5	10			20
高知県	8		10			18
奈良県	8	5	5			18
京都府			16			16
宮崎県	2	9				11
鳥取県	5	3				8
和歌山県		8				8
無回答	7	10	18	2	5	42
総計	442	596	849	17	6	1910

二一ノ調査	職業					総計
	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	
東京都	18	23	28	12	3	84
大阪府	9	9	10	1		29
兵庫県	4	4	11	1		20
愛知県	5	3	9		1	18
埼玉県	3	5	7	1		16
神奈川県	4	2	8	1	1	16
鹿児島県	5	4	5	1		15
千葉県	4	3	8			15
奈良県	7	4	2	2		15
岐阜県	3	1	7			11
広島県		4	5	2		11
北海道	2	2	5	2		11
長野県	2	1	4	2	1	10
宮城県	3	2	4			9
福岡県	1	3	4	1		9
茨城県		2	2	4		8
新潟県	1	3	3	1		8
栃木県	2	2	4			8
岡山県	2	2	3			7
沖縄県	4	1	3			7
京都府		2	4	1		7
三重県	2	1	2	1	1	7
青森県	1		5		1	7
山口県		3	2	1		6
静岡県	3		3			6
福島県	1		5			6
愛媛県	2		3			5
岩手県			5			5
宮崎県		1	4			5
高知県	3	1	1			5
長崎県	1	2	1	1		5
島根県	2	1	2			5
徳島県		1	3	1		5
山形県	1		3			4
山梨県	2	1		1		4
秋田県		2	2			4
富山県			3		1	4
熊本県		3				3
佐賀県	1		2			3
滋賀県	2	1				3
石川県		1	2			3
鳥取県		2	1			3
群馬県		1	1			2
香川県	1		1			2
大分県			2			2
福井県			2			2
和歌山県			1			1
無回答		1	3	1	1	6
総計	101	101	195	38	10	448

g. 教職歴：

無作為	職業					
教職歴	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
0～5年	57	92	112	3		264
5～10年	87	111	159	6		363
10～20年	157	253	315	4		729
20年以上	123	122	240	3		488
無回答	18	18	23	2	5	66
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
教職歴	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
0～5年	2	6	19	7	2	36
5～10年	7	16	34	6	4	67
10～20年	42	50	76	11	2	181
20年以上	47	30	60	14	1	152
無回答	3	2	6		1	12
総計	101	104	195	38	10	448

問1—2. 教科のご専門は何ですか。2教科以上の授業を受け持ちの方は主たる教科をひとつだけ、また、小学校で全教科を担当していらっしゃる方は、特に関心をもって教授法を研究されている教科をひとつだけあげてください。大学教員の方は、(21)に専門分野・授業科目をご記入ください。

無作為	職業					
教科	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
英語	1	100	152	1		254
音楽	30	14	4			48
家庭	11	19	30	1		61
外国語(英語以外)			1			1
公民	4	27	18			49
工業		1	27			28
国語	109	97	132			338
商業			19			19
水産			3			3
数学	77	84	112	1		274
世界史	3	5	47			55
政治経済	3	7	23			33
地理	12	28	38	1		79
日本史	17	39	45			101
農業			7			7
美術	23	24	7			54
保健体育	42	34	28	1		105
理科	51	88	125	1	1	266
倫理	1	1	18			20
その他	35	23	7	9		74
無回答	23	5	6	2	5	41
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					総計
教科	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
英語	2	20	15		1	68
音楽	4	4	1			9
家庭	2	2	9			13
公民	2	8	4		1	15
工業			7			7
国語	17	17	9			43
商業			2			2
水産			1		1	2
数学	11	10	4			25
世界史	2	2	15			19
政治経済		3	16			19
大学				36	3	39
地理	8	12	30	1	1	52
日本史	6	5	9		1	21
農業			11	1		12
美術	3	2	2			7
保健体育	5		4			9
理科	15	9	16			40
倫理		1	3			4
その他	15	8	5		2	30
無回答	9	1	2			12
総計	101	104	195	38	10	448

問2) 先生の海外在住、海外旅行等の海外経験についてうかがいます。

問2-1. 海外旅行や海外在住等の経験はありますか？

無作為	職業					総計	
問2-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	無回答	総計
はい	243	408	617	13			1281
いいえ	192	185	230	4	1		612
無回答	7	3	2			5	17
総計	442	596	849	17	6		1910

ニーズ調査	職業					総計
問2-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
はい	89	98	180	37	9	413
いいえ	11	5	15	1	1	33
無回答	1	1				2
総計	101	104	195	38	10	448

問2-2. 問2-1で「はい」と答えた方にうかがいます。どこへ行きましたか？該当する地域・国名すべてあげてください。(複数回答可)

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	総計
①アジア	94	233	362	1	690
②中近東	3	12	25	1	41
③アフリカ	7	17	31		55
④中南米	7	14	17	1	39
⑤太平洋諸国	70	132	164	2	368
⑥北米	75	161	218	5	459
⑦ヨーロッパ	76	162	229	2	469
総計	332	731	1046	12	2121

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①アジア	69	79	158	34	7	347
②中近東	7	8	20	11	1	47
③アフリカ	9	21	42	11	3	86
④中南米	21	12	39	9	3	84
⑤太平洋諸国	30	35	66	15	2	148
⑥北米	39	45	103	24	5	216
⑦ヨーロッパ	47	55	117	29	6	254
総計	222	255	545	133	27	1182

問3) 先生の学校における開発途上国をめぐる問題の取り組みについてうかがいます。

問3-1. あなたは開発途上国をめぐる問題を学校等で取り上げていますか。

無作為	職業					総計
問3-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	無回答
よく取り上げる	4	27	48			79
ときどき取り上げる	144	230	268	4		646
めったに取り上げない	215	213	305	9	1	743
取り上げたことがない	78	121	223	4		426
無回答	1	5	5			5
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					総計
問3-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	無回答
よく取り上げる	14	16	55	25	2	112
ときどき取り上げる	62	69	95	10	3	239
めったに取り上げない	21	13	36	3	2	75
取り上げたことがない	3	3	7		2	15
無回答	1	3	2		1	7
総計	101	104	195	38	10	448

問3-2. このような問題を生徒たちに教えることの必要性を感じられますか？

無作為	職業					総計
問3-2	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	無回答
大いに必要だ	61	119	174	7		361
必要だ	353	443	598	9	1	1404
あまり必要とは思わない	20	24	60			104
必要と思わない	2	1	6	1		10
無回答	6	9	11		5	31
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					総計
問3-2	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	無回答
大いに必要だ	53	58	118	31	7	267
必要だ	45	43	71	7	2	168
あまり必要とは思わない	2	2	2		1	7
無回答	1	1	4			6
総計	101	104	195	38	10	448

問3-3. 問3-1で「よく取り上げる」「ときどき取り上げる」方は、どの地域を取り上げていますか。「めったに取り上げない」「取り上げたことがない」方は、もし取り上げるとしたら、どの地域を取り上げたいか、お答えください。

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
①アジア	248	402	550	8	1	1209
②中近東	22	34	51	1		111
③アフリカ	121	220	273	6		620
④中南米	20	47	89	1		157
⑤太平洋諸国	4	9	31	1		45
⑥北米	2	7	11			20
⑦ヨーロッパ(中を含む)	7	14	30			51
総計	424	733	1038	17	1	2213

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①アジア	86	91	175	36	8	396
②中近東	4	7	17	4		32
③アフリカ	43	56	83	14	1	197
④中南米	23	16	55	12	2	108
⑤太平洋諸国	7	5	12	4	1	29
⑥北米	2	5	8	5	1	21
⑦ヨーロッパ(中を含む)	4	7	11	5	1	28
総計	169	187	361	80	14	811

問3-4. 問3-1で「よく取り上げる」「ときどき取り上げる」方は、どのテーマや分野を取り上げていますか。「めったに取り上げない」「取り上げたことがない」方は、もし取り上げるとしたらどのようなテーマや分野を取り上げたいか、お答えください(複数回答可)。

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
①環境・公害	130	229	320	6	1	686
②戦争・平和・民族紛争	193	310	359	6	0	868
③貧困・飢餓	214	401	444	7	0	1066
④教育・識字	73	161	199	4	0	437
⑤女性の地位・性差別	16	49	85	2	0	152
⑥人口問題	33	135	229	1	0	398
⑦人権・少数民族	38	108	170	1	0	317
⑧福祉・障害者・高齢者	10	27	27	2	0	66
⑨エイズ	32	59	88	5	1	185
⑩外国人労働者	16	43	77	3	0	139
⑪文化・生活・スポーツ	29	57	91	1	0	178
⑫資源・産業	47	80	147	0	0	274
⑬子ども・児童労働	100	173	158	4	0	435
⑭NGO(非政府組織)	7	55	63	0	0	125
⑮国際連合	7	13	23	0	0	43
⑯政府開発援助(ODA)	14	69	119	0	0	202
⑰橋、道路等社会・経済基盤整備(インフラ)	5	18	34	0	0	57
⑱その他	2	4	13	0	0	19
総計	966	1991	2646	42	2	5647



ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①環境・公害	57	55	126	21	3	262
②戦争・平和・民族紛争	45	65	104	11	5	230
③貧困・飢餓	70	81	142	24	7	324
④教育・識字	49	53	102	22	2	228
⑤女性の地位・性差別	13	21	43	11	3	91
⑥人口問題	15	32	101	16	2	166
⑦人権・少数民族	28	34	76	18	2	158
⑧福祉・障害者・高齢者	5	9	13	2	1	30
⑨エイズ	10	17	40	3	3	73
⑩外国人労働者	11	21	45	11	0	88
⑪文化・生活・スポーツ	23	24	42	7	1	97
⑫資源・産業	18	21	66	15	2	122
⑬子ども・児童労働	56	45	83	16	3	203
⑭NGO（非政府組織）	8	29	64	18	4	123
⑮国際連合	10	8	24	8	1	51
⑯政府開発援助（ODA）	8	33	84	20	3	148
⑰橋、道路等 社会・経済基盤整備（インフラ）	4	8	22	9	0	43
⑱その他	3	3	8	4	1	19
総計	433	559	1185	236	43	2456

（問3-5、問3-6は、問3-1で「めったに取り上げない」「取り上げたことがない」と答えた方にかかっています。）

問3-5. 「めったに取り上げない」「取り上げたことがない」理由は何ですか？（複数回答可）

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
①教材が足りない	108	140	176	3	1	428
②時間がない	137	190	248	2		577
③上司や同僚の理解がない	1	1	5			7
④情報が少ない	103	143	166	2		414
⑤職場以外に一緒に行動する仲間がいない	3	6	7			16
⑥学ぶ側に興味がない	7	4	34			45
⑦活動資金がない	4	5	8			17
⑧特に必要がない	14	17	44	3		78
⑨その他	25	43	63	1		132
総計	402	549	751	11	1	1714

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①教材が足りない	12	4	12	1		29
②時間がない	16	14	24	1		55
③上司や同僚の理解がない	2		5	1	1	9
④情報が少ない	12	5	8	1		26
⑤職場以外に一緒に行動する仲間がいない	2		2	1	1	6
⑥学ぶ側に興味がない	1		6	1		8
⑦活動資金がない			2			2
⑧特に必要がない		2	1			3
⑨その他	2	1	8	2	3	16
総計	47	26	68	8	5	154

問3-6. 今後、取り上げたいと思いますか？

無作為	職業					
問3-6	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
思う	112	125	136	4	1	378
少し思う	147	175	267	7		596
あまり思わない	27	38	91			159
思わない	6	8	22	1		37
無回答	150	250	330	5	5	740
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
問3-6	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
思う	15	12	26	3	3	59
少し思う	10	6	12	3		31
あまり思わない	2	2	4			8
思わない	1		1			2
無回答	73	84	152	32	7	348
総計	101	104	195	38	10	448

(すべての方にうかがいます。)

問3-7. あなたは開発途上国をめぐる問題に関し、授業、授業以外も含め、どのような活動を行っていますか？また、どのような活動を将来行ってみたいと思われませんか？現在行っていない方も、もし行うとしたらどの活動を行ってみたいと思われませんか？該当するものに○印を次の表の右側に記入してください。(複数回答可)

無作為	活動内容	現在行 なっている	将来行 なってみたい
	①学校の教科の一環として	502	453
	②参加型学習(ゲーム、劇、シミュレーション等)	38	291
	③国際協力に関する調査研究、教材開発	42	455
	④学習会、市民講座(エスニック料理、民族衣装等途上国文化紹介も含む)開催、教員間等の情報交換	67	429
	⑤国際理解・国際協力に関するセミナー、国際会議、講演会、シンポジウムの開催	28	236
	⑥フェスティバル、写真展、作文コンテスト等各種イベントの開催	26	207
	⑦チャリティーイベントの実施	27	116
	⑧広報活動	59	131
	⑨募金活動	291	235
	⑩物資援助活動	136	308
	⑪物品販売	22	49
	⑫ワークキャンプやスタディツアー(開発途上国において植林、井戸掘り等の国際協力ボランティアの実施)	12	255
	⑬海外修学旅行	64	324
	⑭国際交流(交換留学等)	112	396
	⑮語学補助教員(ALT, AETなど)の制度を利用している。	303	129
	⑯開発途上国の問題等について話すことのできる講師の招へい	43	606
	⑰その他( )	24	9
	総計	1796	4629

問3-6. 今後、取り上げたいと思いますか？

無作為	職業					
問3-6	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
思う	112	125	136	4	1	378
少し思う	147	175	267	7		596
あまり思わない	27	38	91			159
思わない	6	8	22	1		37
無回答	150	250	330	5	5	740
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
問3-6	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
思う	15	12	26	3	3	59
少し思う	10	6	12	3		31
あまり思わない	2	2	4			8
思わない	1		1			2
無回答	73	84	152	32	7	348
総計	101	104	195	38	10	448

(すべての方にうかがいます。)

問3-7. あなたは開発途上国をめぐる問題に関し、授業、授業以外も含め、どのような活動を行っていますか？また、どのような活動を将来行ってみたいと思われませんか？現在行っていない方も、もし行うとしたらどの活動を行ってみたいと思われませんか？該当するものに○印を次の表の右側に記入してください。(複数回答可)

無作為	活動内容	現在行 なっている	将来行 なってい たい
	①学校の教科の一環として	502	453
	②参加型学習(ゲーム、劇、シミュレーション等)	38	291
	③国際協力に関する調査研究、教材開発	42	455
	④学習会、市民講座(エスニック料理、民族衣装等途上国文化紹介も含む)開催、教員間等の情報交換	67	429
	⑤国際理解・国際協力に関するセミナー、国際会議、講演会、シンポジウムの開催	28	236
	⑥フェスティバル、写真展、作文コンテスト等各種イベントの開催	26	207
	⑦チャリティーイベントの実施	27	116
	⑧広報活動	59	131
	⑨募金活動	291	235
	⑩物資援助活動	136	308
	⑪物品販売	22	49
	⑫ワークキャンプやスタディツアー(開発途上国において植林、井戸掘り等の国際協力ボランティアの実施)	12	255
	⑬海外修学旅行	64	324
	⑭国際交流(交換留学等)	112	396
	⑮語学補助教員(ALT, AETなど)の制度を利用している。	303	129
	⑯開発途上国の問題等について話すことのできる講師の招へい	43	606
	⑰その他( )	24	9
	総計	1796	4629

ニーズ調査 活動内容	現在行 なってい る	将来行 なってみ たい
①学校の教科の一環として	287	92
②参加型学習（ゲーム、劇、シミュレーション等）	159	120
③国際協力に関する調査研究、教材開発	127	168
④学習会、市民講座（エスニック料理、民族衣装等途上国文化紹介も含む）開催、教員間等の情報交換	158	135
⑤国際理解・国際協力に関するセミナー、国際会議、講演会、シンポジウムの開催	139	111
⑥フェスティバル、写真展、作文コンテスト等各種イベントの開催	93	84
⑦チャリティイベントの実施	30	55
⑧広報活動	62	49
⑨募金活動	129	53
⑩物資援助活動	69	73
⑪物品販売	34	33
⑫ワークキャンプやスタディツアー（開発途上国において植林、井戸掘り等の国際協力ボランティアの実施）	49	169
⑬海外修学旅行	48	114
⑭国際交流（交換留学等）	130	117
⑮語学補助教員（ALT、AETなど）の制度を利用している。	157	42
⑯開発途上国の問題等について話すことのできる講師の招へい	125	169
⑰その他（ ）	13	7
総計	1809	1591

問3-8. 上記の活動を行なう場合、どのようなものが必要になる、と思いますか。

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	総計
①開発途上国事情	38	53	112	4	207
②イベント、セミナー情報	10	10	34	2	56
③実践例	34	43	91	3	171
④教材	29	44	84	2	159
⑤人材育成・研修	30	38	95	2	165
⑥資金	21	44	91	3	159
⑦やる気	29	29	82	6	146
⑧その他	3	4	5	0	12
総計	194	265	594	22	1075

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①開発途上国事情	57	59	104	14	4	238
②イベント、セミナー情報	23	24	61	6	2	116
③実践例	45	46	85	17	4	197
④教材	47	61	76	18	7	209
⑤人材育成・研修	42	47	100	20	4	213
⑥資金	36	43	93	20	4	196
⑦やる気	38	51	96	12	4	201
⑧その他	7	16	23	4	2	52
総計	295	347	638	111	31	1422

ニーズ調査 活動内容	現在行 なってい る	将来行 なってみ たい
①学校の教科の一環として	287	92
②参加型学習（ゲーム、劇、シミュレーション等）	159	120
③国際協力に関する調査研究、教材開発	127	168
④学習会、市民講座（エスニック料理、民族衣装等途上国文化紹介も含む）開催、教員間等の情報交換	158	135
⑤国際理解・国際協力に関するセミナー、国際会議、講演会、シンポジウムの開催	139	111
⑥フェスティバル、写真展、作文コンテスト等各種イベントの開催	93	84
⑦チャリティイベントの実施	30	55
⑧広報活動	62	49
⑨募金活動	129	53
⑩物資援助活動	69	73
⑪物品販売	34	33
⑫ワークキャンプやスタディツアー（開発途上国において植林、井戸掘り等の国際協力ボランティアの実施）	49	169
⑬海外修学旅行	48	114
⑭国際交流（交換留学等）	130	117
⑮語学補助教員（ALT、AETなど）の制度を利用している。	157	42
⑯開発途上国の問題等について話すことのできる講師の招へい	125	169
⑰その他（ ）	13	7
総計	1809	1591

問3-8. 上記の活動を行なう場合、どのようなものが必要になる、と思いますか。

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	総計
①開発途上国事情	38	53	112	4	207
②イベント、セミナー情報	10	10	34	2	56
③実践例	34	43	91	3	171
④教材	29	44	84	2	159
⑤人材育成・研修	30	38	95	2	165
⑥資金	21	44	91	3	159
⑦やる気	29	29	82	6	146
⑧その他	3	4	5	0	12
総計	194	265	594	22	1075

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①開発途上国事情	57	59	104	14	4	238
②イベント、セミナー情報	23	24	61	6	2	116
③実践例	45	46	85	17	4	197
④教材	47	61	76	18	7	209
⑤人材育成・研修	42	47	100	20	4	213
⑥資金	36	43	93	20	4	196
⑦やる気	38	51	96	12	4	201
⑧その他	7	16	23	4	2	52
総計	295	347	638	111	31	1422

問4) 開発途上国をめぐる問題、すなわち開発途上国の人々のかかえる様々な問題や環境、人口増加などの地球的規模の問題について扱う教育についてうかがいます。

問4-1. 以下のどの用語を聞いたことがありますか？(複数回答可) なお、その他の用語で適当なものをご存知の場合は「⑩その他」にご記入下さい。

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
①異文化理解教育	111	258	409	4		782
②国際理解教育	272	469	453	11		1205
③グローバル教育	132	222	267	6		627
④国際教育	113	218	260	6		597
⑤開発教育	29	51	114	2		196
⑥平和教育	256	432	510	10		1208
⑦ワーク・スペース	12	31	36	2		81
⑧環境教育	292	462	460	8	1	1223
⑨人権教育	267	453	530	10		1260
⑩多文化教育	30	62	111	3		206
⑪すべて知らない	1	2	15			18
⑫その他	1	2	1			4
総計	1516	2662	3166	62	1	7407

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①異文化理解教育	90	94	169	36	8	397
②国際理解教育	99	103	186	36	9	433
③グローバル教育	78	68	141	29	6	322
④国際教育	46	46	116	25	7	240
⑤開発教育	68	75	162	34	9	348
⑥平和教育	89	91	164	32	8	384
⑦ワーク・スペース	39	35	78	26	5	183
⑧環境教育	94	93	169	36	10	402
⑨人権教育	89	96	173	32	9	399
⑩多文化教育	40	41	79	29	6	195
⑪すべて知らない						
⑫その他	2	4	5	4	2	17
総計	734	746	1442	319	79	3320

問4-2. 問4-1. で、「⑤開発教育」にレ印をつけた方(つけていない方は、問4-3へお進みください)にうかがいます。あなたの考える開発教育とはどのようなものですか?どのような印象をお持ちですか?

(問5へお進みください。)

問4-3. 問4-1で「⑤開発教育」にレ印をつけていない方に、お伺い致します。今後、開発教育について知りたいとお思いになりますか?

無作為	職業					総計
問4-3	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	
思う	269	381	452	9	1	1112
思わない	65	104	163			332
無回答	108	111	231	8	5	466
総計	442	596	849	17	6	1910

問4) 開発途上国をめぐる問題、すなわち開発途上国の人々のかかえる様々な問題や環境、人口増加などの地球的規模の問題について扱う教育についてうかがいます。

問4-1. 以下のどの用語を聞いたことがありますか？(複数回答可) なお、その他の用語で適当なものをご存知の場合は「⑩その他」にご記入下さい。

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
①異文化理解教育	111	258	409	4		782
②国際理解教育	272	469	453	11		1205
③グローバル教育	132	222	267	6		627
④国際教育	113	218	260	6		597
⑤開発教育	29	51	114	2		196
⑥平和教育	256	432	510	10		1208
⑦ワーク・スペース	12	31	36	2		81
⑧環境教育	292	462	460	8	1	1223
⑨人権教育	267	453	530	10		1260
⑩多文化教育	30	62	111	3		206
⑪すべて知らない	1	2	15			18
⑫その他	1	2	1			4
総計	1516	2662	3166	62	1	7407

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①異文化理解教育	90	94	169	36	8	397
②国際理解教育	99	103	186	36	9	433
③グローバル教育	78	68	141	29	6	322
④国際教育	46	46	116	25	7	240
⑤開発教育	68	75	162	34	9	348
⑥平和教育	89	91	164	32	8	384
⑦ワーク・スペース	39	35	78	26	5	183
⑧環境教育	94	93	169	36	10	402
⑨人権教育	89	96	173	32	9	399
⑩多文化教育	40	41	79	29	6	195
⑪すべて知らない						
⑫その他	2	4	5	4	2	17
総計	734	746	1442	319	79	3320

問4-2. 問4-1. で、「⑤開発教育」にレ印をつけた方(つけていない方は、問4-3へお進みください)にうかがいます。あなたの考える開発教育とはどのようなものですか？どのような印象をお持ちですか？

(問5へお進みください。)

問4-3. 問4-1で「⑤開発教育」にレ印をつけていない方に、お伺い致します。今後、開発教育について知りたいとお思いになりますか？

無作為	職業					
問4-3	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
思う	269	381	452	9	1	1112
思わない	65	104	163			332
無回答	108	111	231	8	5	466
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
問4-3	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
思う	24	20	30	4		78
思わない	1	1	2		1	8
無回答	73	83	163	34	9	362
総計	101	104	195	38	10	448

問5) 「総合的な学習の時間」についてうかがいます。

問5-1. 2002年より学習指導要領に「総合的な学習の時間」が導入されます。先生が「総合的な学習の時間」を担当するとしたら、どの分野を中心に教えたいと思いますか。

無作為	職業					
問5-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
国際理解	100	206	279	4		589
環境	172	198	274	8	1	653
情報	48	70	98	1		217
福祉・健康	70	81	96	2		249
その他	34	27	74	2		137
無回答	18	14	28		5	65
総計	442	596	849	17	6	1910

その理由：

ニーズ調査	職業					
問5-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
国際理解	72	74	130	16	5	297
環境	12	10	27	9	1	59
情報	4	2	7			13
福祉・健康	2	4	4			10
その他	9	13	21	2	3	48
無回答	2	1	6	11	1	21
総計	101	104	195	38	10	448

問5-2. 「総合的な学習の時間」に対する期待や不安、問題点がありましたらお書き願います。  
(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)



問6) 現在、地球社会を取り巻くさまざまな問題、いわゆる地球規模の諸問題の解決等についてご意見をうかがいます。

問6-1. こうした諸問題の解決に向けて、どのような取り組みが必要だと思いますか？(複数回答可)

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	総計
①政府開発援助(ODA)を積極的に進める	135	224	245	3	607
②NGO(非政府組織)による援助を積極的に進める。	75	203	300	5	583
③貿易や投資を開発途上国との間に積極的に進める。	41	78	95	1	215
④市民同士の交流を進め、互いの文化や生活の違いをよく理解する。	179	287	405	5	876
⑤地球規模の問題について、学校や社会・地域で学んでいく活動(開発教育など)を進める。	233	420	480	8	1141
⑥その他	13	27	55	1	96
総計	676	1239	1580	23	3518

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①政府開発援助(ODA)を積極的に進める	36	35	86	17	2	176
②NGO(非政府組織)による援助を積極的に進める。	50	54	122	24	8	258
③貿易や投資を開発途上国との間に積極的に進める。	11	11	36	6	2	66
④市民同士の交流を進め、互いの文化や生活の違いをよく理解する。	71	81	147	31	9	339
⑤地球規模の問題について、学校や社会・地域で学んでいく活動(開発教育など)を進める。	86	94	162	35	10	387
⑥その他	4	12	13	9	1	39
総計	258	287	566	122	32	1265

問6-2. 開発途上国をめぐる問題や地球規模の諸問題を解決するひとつとして、政府開発援助(ODA)が挙げられますが、政府開発援助(ODA)についてご存知ですか？

無作為	職業					
問6-2	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
知っている	121	241	448	8		818
聞いたことがある	229	266	339	5	1	840
知らない	78	80	55	4		217
無回答	14	9	7		5	35
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					総計
問6-2	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
知っている	68	85	169	38	10	370
聞いたことがある	23	16	21			60
知らない	5		1			6
無回答	5	3	4			12
総計	101	104	195	38	10	448

問6-3. 問6-2で「知っている」、「聞いたことがある」と答えられた方に伺います。  
ODAという言葉を知った・聞いたきっかけは何でしたか？（複数回答可）

無作為	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
新聞・TV	268	439	602	5		1314
インターネット	3	6	7			16
書籍・雑誌	46	116	178	2		342
機関誌・広報誌	8	13	31			52
セミナー		1	5			6
研修	1	2	7			10
その他	10	50	60	1	1	122
総計	336	627	890	8	1	1862

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
新聞・TV	83	74	142	19	8	326
インターネット	4	5	7	1		17
書籍・雑誌	37	34	78	23	6	178
機関誌・広報誌	19	11	51	7	3	91
セミナー	17	8	26	6	2	59
研修	2	12	24	1	1	40
その他	9	22	26	9	4	70
総計	171	166	354	66	24	781

(すべての方にうかがいます。)

問6-4. 日本は開発途上国に対して資金・技術協力などを行なっていますが、これからも積極的に進めるべきだと思いますか。

無作為	職業					総計
問6-4	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
積極的に	237	332	430	12	1	1012
現在程度	128	157	236			521
なるべく少なく	12	20	27	1		60
やめるべき	2	6	13			21
分からない	45	67	114	2		228
無回答	18	14	29	2	5	68
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					総計
問6-4	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
積極的に	60	62	136	20	6	284
現在程度	22	19	29	9	1	80
なるべく少なく	6	5	6	3	1	21
やめるべき		1	1	2		4
分からない	8	13	18	3	1	43
無回答	5	4	5	1	1	16
総計	101	104	195	38	10	448

問6-5. ODA関係機関が開発教育の支援を行っていることをご存知ですか？

無作為	職業					
問6-5	小学校教員	中学校教員	高校教員	その他	無回答	総計
知っている、聞いたことがある	69	98	157	2		326
知らない	355	481	657	14	1	1508
無回答	18	17	35	1	5	76
総計	442	596	849	17	6	1910

ニーズ調査	職業					
問6-5	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
知っている、聞いたことがある	44	55	128	28	8	263
知らない	51	45	58	7	1	162
無回答	6	4	9	3	1	23
総計	101	104	195	38	10	448

問7) あなたがご存知の国際協力・国際交流・または開発教育等を行っているNGO、地方自治体・国際交流団体名がありましたら、その団体名(所在地)をご記入ください。

都道府県	団体名

#### 問8 以降はニーズ調査のみ集計

問8) これまでは先生自身のことや、開発途上国をめぐる問題の取り組みの実態についてうかがいました。これからは、その取り組みの実践についてより詳しく、また、それを行う上でどのような要望をお持ちなのかについて、お聞きかせください。

問8-1. どなたが対象者ですか？

ニーズ調査	職業					
問8-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
小学生	78	3	1		1	83
中学生		75	7			82
高校生			149	1	2	152
大学生				30		30
一般社会人	1				1	2
その他	2		1		1	4
無回答	20	26	37	7	5	95
総計	101	104	195	38	10	448

問8-2. どこで行っていますか？

ニーズ調査	職業					
問8-2	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
小学校	77	2			1	80
中学校	1	75	6			82
高等学校			150	1	1	152
大学				30		30
その他	2		2		3	7
無回答	21	27	37	7	5	97
総計	101	104	195	38	10	448

問8-3. 学校内で行っている場合、どのような場で取り上げていますか？（複数回答可）

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①教科授業	57	67	129	29	4	286
②ホームルーム・学級会・学級指導	31	37	33		1	102
③クラブや部活動	11	9	27	2		49
④生徒会活動	12	18	14			44
⑤学校行事	14	12	35	2		63
⑥その他	12	9	20	3		44
総計	137	152	258	36	5	588

問8-4. どれくらい行っていますか？

週：

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①1時間以内	23	16	26	4		69
②1時間から3時間以内	12	11	26	5	2	56
③3時間から6時間以内	3	4	10	8	1	26
④6時間以上	2	2	5	3		12
総計	40	33	67	20	3	163

年：

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
⑤1回以内	5	2	11	1		19
⑥2から3回	19	26	34	4		83
⑦4回から5回	10	14	23	2	1	50
⑧6回以上	13	14	30	8		65
⑨その他	10	5	17	5	1	38
総計	57	61	115	20	2	255

問8-5. 始められてからどれくらいになりますか？

ニーズ調査	職業					
問8-5	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
1年未満	10	8	10	2	1	31
1年以上3年未満	18	25	35	5	1	84
3年以上5年未満	12	15	34	5	1	67
5年以上10年未満	16	13	37	9	1	76
10年以上	13	14	35	9	1	72
無回答	48	29	44	8	5	118
総計	101	104	195	38	10	448

問8-6. この取り組みをはじめたきっかけは何ですか？

（資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。）

問8-7. 特に「これは」と思われる実践例があれば、お書き願います。

（資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。）

問8-8. 現在行なっている取り組みの方法をどのようにして学びましたか？

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①書籍	23	29	51	14	3	120
②セミナー	23	18	39	7	1	88
③研修	19	17	40	3		79
④その他	11	11	19	5	2	48
⑤特に学んでいない	20	30	51	10	1	112
総計	96	105	200	39	7	447

問9) 教材について伺います。

問9-1. 開発途上国をめぐる問題を取り上げる際、使用している教材はありますか？

(いいえ、の方は問9-5へお進みください。)

ニーズ調査	職業					
問9-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
はい	43	52	89	22	5	211
いいえ	27	25	60	7		119
無回答	31	27	46	9	5	118
総計	101	104	195	38	10	448

問9-2. 問9-1で「はい」と答えた方に伺います。どのような教材ですか？

3つまであげてください。

<一つ目>

a. タイトル：(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

b. 教材の種類：

ニーズ調査	職業					
9-2-1-b	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
スライド	1	5	2	1	1	10
ビデオ	9	10	21	4	2	46
教科書	9	8	15	2		34
書籍	16	16	29	13	1	75
独自の教材	3	6	8		1	18
補助教材	3	1	4			8
その他	2	2	7			11
無回答	58	56	109	18	5	246
総計	101	104	195	38	10	448

c. 製造者：

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①教科書出版会社	5	7	14	8	1	35
②団体	11	17	29	3		60
③その他	5	3	7	1		16
総計	21	27	50	12	1	111

d. 入手方法：

ニーズ調査	職業					
問9-2-1-d	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
所属先で購入	3	4	12	2		21
個人で購入	17	17	35	10	2	81
その他	6	9	12	1		28
無回答	75	74	136	25	8	318
総計	101	104	195	38	10	448

<二つ目>

a. タイトル：(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

b. 教材の種類：

ニーズ調査	職業					総計
9-2-2-b	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	
スライド	5		2			7
ビデオ	4	15	20	4		43
教科書	1		5			6
書籍	8	8	24	4		44
独自の教材	2	4	3	2		11
補助教材	1	2	1			4
その他	1	1	3	1		6
無回答	79	74	137	27	10	327
総計	101	104	195	38	10	448

c. 製造者：

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	総計
①教科書出版会社	14	19	40	8	81
②団体	9	13	25	5	52
③その他	1	5	6	1	13
総計	24	37	71	14	146

d. 入手方法：

ニーズ調査	職業					総計
問9-2-2-d	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	
所属先で購入	2	2	11			15
個人で購入	8	10	24	4		46
その他	5	14	11	6		36
無回答	86	78	149	28	10	351
総計	101	104	195	38	10	448

<三つ目>

a. タイトル：(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

ニーズ調査	職業					総計
9-2-3-b	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	
その他	3	3	2			8
ビデオ	3	5	10	1		19
教科書	1	2	1	1		5
書籍	2	5	20	3		30
独自の教材	4	4	4	1		13
補助教材	3	4	3			10
無回答	85	81	155	32	10	363
総計	101	104	195	38	10	448

c. 製造者：

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	総計
①教科書出版会社		1	4	2	7
②団体	6	10	17	2	35
③その他	1	2	5	1	9
総計	7	13	26	5	51

d. 入手方法:

ニーズ調査	職業					
問9-2-3-d	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
その他	4	6	8	1		19
個人で購入	3	14	23	3		43
所属先で購入		1	2			3
無回答	94	83	162	34	10	383
総計	101	104	195	38	10	448

問9-3. 問9-2であげられたような現在使用されている教材に満足されていますか?

ニーズ調査	職業					
問9-3	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
満足	4	10	17	1		32
やや満足	18	13	37	8	1	77
やや不満	7	11	23	7	1	49
不満	2	2	3		1	8
無回答	70	68	115	22	7	282
総計	101	104	195	38	10	448

問9-4. 「やや不満」「不満」と回答された方は、どういう点が不満ですか?

ニーズ調査	職業					
問9-4	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
データが古い	2	6	11	4	1	24
学習者に達していない	2	1	9	1		13
内容が難しすぎる	3	3		1		7
日本の現状とかけ離れている	2	1	4			7
その他	3	6	6	3	2	20
無回答	89	87	165	29	7	377
総計	101	104	195	38	10	448

(すべての方にうかがいます。)

問9-5. 今後、どのような資料・教材をお望みですか? 「こういうものがあれば」というご希望がありましたらお聞かせ下さい。手引書・スライド・ビデオなどの形態についても合わせて記入してください。

(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

問9-6. 以下の刊行物のうち、あなたが題名を開いたもの、手に取ってご覧になったことのあるもの、しばしば参考になさるものについて該当する場合は○印、そうでない場合には×印を次の表の右側に記入してください。

ニーズ調査①月刊誌	職業					
問9-6-①	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「世界の動き」						
しばしば参考にする	2	5	21	6	1	35
手に取ったことがある	20	28	68	11	2	129
開いたことがある	15	10	22	9	2	58
知らない	20	26	32	5		83
無回答	44	35	52	7	5	143
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査②パンフレット	職業					
問9-6-②	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「円借款って何ですか」						
しばしば参考にする		1	10	2		13
手に取ったことがある	3	13	30	4		50
聞いたことがある	8	9	20	8	3	48
知らない	38	39	59	9	2	147
無回答	52	42	76	15	5	190
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査③月刊誌	職業					
問9-6-③	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「国際協力プラザ」						
しばしば参考にする	3	2	12	8	1	26
手に取ったことがある	16	24	40	13		93
聞いたことがある	9	13	29	1	2	54
知らない	29	26	42	5	2	104
無回答	44	39	72	11	5	171
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査④ニューズレター	職業					
問9-6-④	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「開発教育ニューズレター」						
しばしば参考にする	17	17	48	18	3	103
手に取ったことがある	8	14	31	7	1	64
聞いたことがある	9	5	22	2		38
知らない	25	30	34	1		90
無回答	42	38	57	10	6	71
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査⑤月刊誌	職業					
問9-6-⑤	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「国際開発ジャーナル」						
しばしば参考にする	1	2	7	9	1	20
手に取ったことがある	18	26	43	14		101
聞いたことがある	15	14	37	3		69
知らない	17	24	36	5	3	85
無回答	50	38	72	7	6	173
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査⑥月刊誌	職業					
問9-6-⑥	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「国際協力」						
しばしば参考にする	3	8	32	8	1	52
手に取ったことがある	23	26	64	11	2	126
聞いたことがある	11	11	18	2		42
知らない	18	22	23	6	1	70
無回答	46	37	58	11	6	158
総計	101	104	195	38	10	448



ニーズ調査⑦月刊誌	職業					
問9-6-⑦	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「クロスロード」						
しばしば参考にする	7	16	33	1	1	58
手に取ったことがある	26	27	61	15	2	131
聞いたことがある	7	11	22	6		46
知らない	17	17	16	5	1	56
無回答	44	33	63	11	6	157
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査⑧壁新聞	職業					
問9-6-⑧	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「国際理解教育ボックス」						
しばしば参考にする	3	3	11			17
手に取ったことがある	12	12	15			39
聞いたことがある	12	6	18	10		46
知らない	27	39	59	13	3	141
無回答	47	44	92	15	7	205
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査⑨月刊誌	職業					
問9-6-⑨	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「月刊ユネスコ」						
しばしば参考にする	3	3	6			12
手に取ったことがある	5	14	22	7	3	51
聞いたことがある	19	8	31	5		63
知らない	28	36	56	12	1	133
無回答	46	43	80	14	6	189
総計	101	104	195	38	10	448

ニーズ調査⑩ニューズレター	職業					
問9-6-⑩	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
「ユネスコアジア文化ニュース」						
しばしば参考にする	2	3	4	1		10
手に取ったことがある	8	3	9	6	3	29
聞いたことがある	10	6	22	7		45
知らない	34	49	67	10	1	161
無回答	47	43	93	14	6	203
総計	101	104	195	38	10	448

●以下の分類で参考にしている書物があれば、書名を記述願います。

発行者	タイトル
⑪ ①から⑧以外のODA関係機関の刊行物	ODA白書、いまわたしたちにできること、国際協力研究、OECDニューズレター等
⑫ ⑨及び⑩以外のユネスコやユニセフ等の国際連合関係の刊行物	ユニセフ・ニュース、開発のための教育、世界のこどもたち、新しい開発教育の進め方等
⑬ 地方自治体・国際交流団体の刊行物	いちやりば通信、インターピープル、とよなか国際交流協会ニューズレター等
⑭ NGOの刊行物	開発教育、開発教育資料目録、月刊オルタ、南の風(シャブラニール)、NGOデータブック等
⑮ その他ご存じの刊行物	いわて国際交流、赤十字新聞、社会科教科書等

問10) 開発途上国をめぐる問題についての情報の入手についてうかがいます。

問10-1. このような問題を取り上げる際、特に外部から情報を入力していますか？

(いいえ、の方は問10-6へお進みください。)

ニーズ調査	職業					総計
問10-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	
はい	47	53	119	27	5	251
いいえ	24	20	35	5		84
無回答	30	31	41	6	5	113
総計	101	104	195	38	10	448

問10-2. 問10-1で「はい」と答えた方にうかがいます。どこから入手していますか？

(複数回答可)

ニーズ調査	小学校教員	高校教員	中学校教員	大学教員	その他	総計
新聞・TV	32	79	37	18	4	170
インターネット	11	27	20	15	2	75
書籍・雑誌	21	51	30	18	3	123
機関誌・広報誌	16	56	17	13	3	105
セミナー	12	27	6	6	1	52
研修	4	13	2	3		22
各種センター等	6	12	16	2	1	37
その他	7	12	4	4		27
総計	109	277	132	79	14	611

問10-3. 今後 どのような情報を必要としますか？ (複数回答可)

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①開発途上国事情	41	43	111	15	5	215
②イベント・セミナー・研修情報	17	31	65	8	2	123
③実践例	35	40	98	17	3	193
④教材	33	48	74	15	4	174
⑤指導法・教授法	24	27	65	16	4	136
⑥教育理論	7	10	24	10	2	53
⑦文献・資料	18	33	50	15	4	120
⑧資金	6	10	32	8	1	57
⑨講師	21	20	34	4		79
⑩関連団体の紹介	15	21	29	3		68
⑪その他	2	1	3	1		7
総計	219	284	585	112	25	1225

問10-4. 現在使用されている情報に満足していますか？

ニーズ調査	職業					総計
問10-4	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	
満足	3	4	14	2		23
やや満足	32	29	55	15	1	132
やや不満	10	17	55	7	4	93
不満	7	9	11	2		29
無回答	49	45	60	12	5	171
総計	101	104	195	38	10	448

問10-5. 「やや不満」「不満」と回答された方は、どういう点が不満ですか？

ニーズ調査	職業					総計
問10-5	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
データが古い	1	3	11	2		17
学習者に達していない	6	8	20	1	2	37
内容が難しすぎる	5	3	11		1	20
日本の現状とかけ離れている	3	4	7	3	1	18
その他	5	11	16	5		37
無回答	81	75	130	27	6	319
総計	101	104	195	38	10	448

(すべての方にかがいます。)

問10-6. 今後、どのような開発途上国をめぐる問題等に関する情報をお望みですか？「こういうものがあれば」というご希望がありましたらお書きください。

(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

問11) 研修、セミナーおよび外部講師の招へいについてうかがいます。

問11-1. このような取り組みに関する研修やセミナーに参加していますか？

(いいえ、の方は問11-7へお進みください。)

ニーズ調査	職業					総計
問11-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
はい	40	39	108	18	2	207
いいえ	34	40	53	13	3	143
無回答	27	25	34	7	7	98
総計	101	104	195	38	10	448

問11-2. 問11-1で「はい」とお答えの方、どれくらいの頻度で参加していますか？

ニーズ調査	職業					総計
問11-2	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
1～2回	25	23	63	8	1	120
3～4回	6	7	25	2	1	41
4～5回	2	3	6	1		12
6回以上	6	3	8	5		22
その他	2	1	5	2		10
無回答	60	67	88	20	8	243
総計	101	104	195	38	10	448

問11-3. それは、どこで知りましたか？(複数回答可)

ニーズ調査	職業					総計
問11-3	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
新聞・TV	14	10	17	2	0	43
インターネット	1	2	2	0	0	5
書籍・雑誌	4	3	4	2	0	13
機関紙・広報誌	19	13	51	8	0	91
セミナー	7	2	12	3	0	24
研修	4	3	12	1	1	21
その他	7	15	36	7	1	66
総計	56	48	134	23	2	263

問11-4. どちらで実施された研修/セミナーですか？

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
政府機関	2	5	32	4	0	43
地方自治体・国際交流 団体等	23	15	46	6	0	90
NGO	13	15	41	9	0	78
その他	11	4	18	3	1	37
総計	49	39	137	22	1	248

問11-5. その研修・セミナーに関しては満足していますか？

ニーズ調査	職業					総計
問11-5	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
満足	14	7	37	5		63
やや満足	24	19	59	7	1	110
やや不満	3	9	10	3	1	26
不満	1		1	2		4
無回答	59	69	88	21	8	245
総計	101	104	195	38	10	448

問11-6. 「やや不満」「不満」と回答された方は、どういう点が不満ですか？

ニーズ調査	職業					総計
問11-6	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
データが古い			1			1
学習者に達していない	1	1	1	1	1	4
日本の現状とかけ離れて いる		2	3		3	8
その他	4	6	10	2	1	23
無回答	96	95	180	32	9	412
総計	101	104	195	38	10	448

(すべての方にうかがいます。)

問11-7. 今後、どのような研修・セミナーをお望みですか？「こういうものがあれば」というご希望がありましたらお願いします。

(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

問11-8. 海外研修に参加したことがありますか？

(いいえ、の方は問11-10へお進みください。)

ニーズ調査	職業					総計
問11-8	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
はい	34	42	90	8	3	177
いいえ	43	35	71	23	2	174
無回答	24	27	34	7	5	97
総計	101	104	195	38	10	448

問11-9. 問11-8で「はい」の方は、どちらに行かれましたか。当てはまる地域をすべてあげてください。(複数回答可)

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①アジア	16	22	59	5	2	104
②中近東	0	0	3	1	0	4
③アフリカ	2	7	12	1	0	22
④中南米	7	2	18	1	0	28
⑤太平洋諸国	2	6	11	3	0	22
⑥北米	8	9	24	2	0	43
⑦ヨーロッパ(ロシア含む)	8	7	11	3	1	30
総計	43	53	138	16	3	253

(すべての方にうかがいます。)

問11-10. これまでの参加経験の有無にかかわらず、今後海外研修やセミナーに行くとしたら、どこに行きたいですか？(複数回答可)

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①アジア	46	53	104	17	4	224
②中近東	10	21	52	3	2	88
③アフリカ	18	50	90	12	3	173
④中南米	27	29	63	8	3	130
⑤太平洋諸国	12	11	38	3	2	66
⑥北米	5	9	15	4	2	35
⑦ヨーロッパ(ロシア含む)	13	12	36	6	2	69
総計	131	185	398	53	18	785

問11-11. 特にどのようなところを見学したいですか？

ニーズ調査	職業					
問11-11	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
NGOの活動	2		4	2		8
ODAプロジェクト	4	3	9	2		18
現地の生活	66	72	146	23	5	312
歴史・史跡・文化	1	5	6	1		13
その他	3		3	1		7
無回答	25	24	27	9	5	90
総計	101	104	195	38	10	448

問11-12. 外部講師を招いたことはありますか？

(いいえ、の方は問11-18へお進みください。)

ニーズ調査	職業					
問11-12	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
はい	45	40	97	22	3	207
いいえ	30	38	69	10	2	149
無回答	26	26	29	6	5	92
総計	101	104	195	38	10	448

問11-13. どのような講師を招きましたか？

ニーズ調査	職業					総計
問11-13	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
JOCV隊員	7	4	20		1	32
NGO職員	5	8	12	5	1	31
ODA職員	1	1	2	1		5
大学教授等	6	2	12	12		32
地方自治体・国際交流 団体			4			4
留学生	24	22	39	2	1	88
その他	5	4	11	2		22
無回答	53	63	95	16	7	234
総計	101	104	195	38	10	448

問11-14. その講師を呼ぶ際に、どのような形で招きましたか？

ニーズ調査	職業					総計
問11-14	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
P T A	1					1
学校	34	28	66	11		139
個人的	7	12	17	8	2	46
その他	5	1	11	3	1	21
無回答	54	63	101	16	7	241
総計	101	104	195	38	10	448

問11-15. 講師の情報は、どこで知りましたか？（複数回答可）

ニーズ調査	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
新聞・TV	2	2	13	0	0	17
インターネット	0	2	1	0	0	3
書籍・雑誌	2	0	3	1	0	6
機関誌・広報誌	4	5	11	1	0	21
セミナー	6	3	10	0	1	20
研修	4	2	10	0	0	16
その他	29	32	66	18	2	147
総計	47	46	114	20	3	230

問11-16. その講師に関しては満足していますか？

ニーズ調査	職業					総計
問11-16	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
満足	26	24	50	6	2	108
やや満足	15	14	39	11	1	80
やや不満	3	2	6	2		13
不満			2	1		3
無回答	57	61	98	18	7	244
総計	101	104	195	38	10	448

問11-17. 「やや不満」「不満」と回答された方は、どういう点が不満ですか？

ニーズ調査	職業					
問11-17	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
学習者に達していない	1		3			4
内容が難しすぎる	1	1	2	2		6
日本の現状とかけ離れている				2		2
その他	3	1	5			9
無回答	96	102	185	34	10	427
総計	101	104	195	38	10	448

(すべての方にかがいます。)

問11-18. 今後、どのような講師をお望みですか？「こういう方がいれば」というご希望がありましたらお書きください。

(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

問12) 資金についてうかがいます。

問12-1. どのようにしてこの活動のための資金・経費の確保をおこなっていますか？

ニーズ調査	職業					
問12-1	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
学校予算	34	42	76	16	1	169
自費	15	25	53	7	1	101
特別枠	5	2	4	1		12
その他	13	6	14	4	2	39
無回答	34	29	48	10	6	127
総計	101	104	195	38	10	448

問12-2. その資金に関しては満足していますか？

ニーズ調査	職業					
問12-2	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
満足	5	8	12		1	26
やや満足	17	13	26	9	1	66
やや不満	18	30	50	9	1	108
不満	22	16	51	8	1	98
無回答	39	37	56	12	6	150
総計	101	104	195	38	10	448

問12-3. 「やや不満」「不満」と回答された方は、どういう点が不満ですか？

ニーズ調査	職業					
問12-3	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
資金不足	36	43	88	15	2	184
その他	7	6	12	2		27
無回答	58	55	95	21	8	237
総計	101	104	195	38	10	448

(すべての方にかがいます。)

問12-4. 今後、ODA関係機関等に対してどのような資金支援をお望みですか？「こういう資金支援があれば」というご希望がありましたらお書きください。

(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

問13) 全体の課題・ニーズについてうかがいます。

問13-1. 現在 開発途上国をめぐる問題を取り上げる際の問題点、困難な点は何ですか？

(複数回答可) (具体的な記述については、資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

ニーズ調査 問題点	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①教材が足りない	26	37	68	10	2	143
②授業を行なう時間がない	30	43	73	1	1	148
③準備をする時間がない	26	35	58	6	1	126
④自分が学習・研修する時間がない	23	40	64	9	3	139
⑤上司や同僚の理解がない	14	19	47	3	1	84
⑥情報が少ない	25	23	52	6	1	107
⑦職場以外に行動する仲間がいない	0	4	12	2	0	18
⑧学ぶ領域に興味がない	8	5	34	6	1	54
⑨活動資金がない	21	16	38	6	1	82
⑩正規のカリキュラムに入っていない	28	26	60	6	1	121
⑪正規の予算措置がない	11	14	42	6	2	75
⑫十分な施設・設備がない	5	8	19	4	1	37
⑬国際理解分野に詳しい教員がいない	15	16	38	5	1	75
⑭学校図書館に関連図書が少ない	20	16	31	3	1	71
⑮講師招聘が難しい	17	13	18	4	1	53
⑯外国人講師がいない	9	4	8	0	0	21
⑰開発教育という用語が障害となる	6	2	14	6	0	28
⑱その他 ( )	4	5	9	5	0	23
総計	288	326	685	88	18	1405

問13-2. 問題点・課題を乗り越える上で何か努力したり、工夫していることはありますか？

.....

問13-3. 将来的に取り組むべきと考えておられる課題は何ですか？ (複数回答可)

	小学校教員	中学校教員	高校教員	大学教員	その他	総計
①資金づくり	14	10	28	7		59
②教材づくり	35	45	96	16	5	197
③人材育成 (研修、セミナー、講習会等)	36	37	90	16	4	183
④教材づくり	43	45	91	19	2	200
⑤その他	5	5	9	5		24
総計	133	142	314	63	11	663

その理由：(資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。)

.....

問13-4. 今後、どういう方向で取り組みを拡大していきたい(推進したい)とお考えですか？

.....

問13-5. その際に、何が必要ですか？

.....



問13-6. こうした活動において以下の機関にそれぞれ特に望むことは何ですか？（複数回答可）

機関	以下の項目より選び、番号を記入願います。
a. ODA関係機関	
b. NGO	
c. 地方自治体・国際交流団体等	
d. 教育行政	
e. マスコミ	
f. 教科書出版会社	

<項目>

- |                |                 |            |
|----------------|-----------------|------------|
| ①教材や題材の提供      | ②プロジェクトに関する情報提供 |            |
| ③セミナーや講演会の実施   | ④開発途上国視察ツアーの実施  | ⑤講師の派遣     |
| ⑥資金補助          | ⑦図書や資料の整備       | ⑧情報交換の場の提供 |
| ⑨各種センター等の施設の利用 | ⑩その他（           | ）          |

ニーズ調査	a	b	c	d	e	f
①	100	88	56	76	60	138
②	152	111	44	22	66	14
③	73	80	105	76	39	13
④	107	64	80	65	15	6
⑤	80	92	80	55	20	8
⑥	89	13	86	127	16	4
⑦	40	19	67	106	32	81
⑧	50	79	105	87	70	18
⑨	37	17	85	61	13	4
⑩	4	5	4	20	19	6

問13-7. 問13-6に関してご意見・ご要望等がございましたら、ご自由に記述願います。

（資料4. の2. 「学校教員向けアンケート調査」参照。）

ご協力ありがとうございました。



【執筆分担】

赤石 和則	1-1
佐伯 真人	2-1、4-1
川村 泰久	5-3-1
大津 和子	4-2-3
湯本 浩之	1-3-2-1、4-4
小貫 仁	2-3-1、4-2-2
斉藤 宏	1-3-1、2-2 (高等学校)、4-2-4
降旗 高司郎	1-3-2-2、4-5
白井 香里	2-2 (中学校)、4-2-1
荒木 光彌	4-6
大貝 隆之	5-3-3
塚田 信裕	5-3-4
末森 満	5-3-2
各団体タスク	5-3-5
調査研究事務局	1-2、1-4、1-5、2-3-2、3章、4-3、5-1、5-2

国民参加型協力推進基礎調査「開発教育支援のあり方」調査研究報告書

(非売品) 1999年3月31日 発行  
編集・発行 国際協力事業団  
国際協力総合研修所

〒162-8443 東京都新宿区市谷本村町10-5  
電話(03)3269-2911  
ホームページ:www.jica.go.jp

©Japan International Cooperation Agency 1999 Printed in Japan

この報告書の原案を作成したのは  
JICA 総務部 広報課 2号

1999.9.3 同課に承認 JICA図書館

